

別紙 1

【1】上宮津地区 農泊体験コンテンツ開発(令和3年6月～12月)

(1)活動実績

- ・令和3年10月23日～24日で農業体験、農泊の実証実験を行った。
- ・プログラムは、農業体験“さつまいも堀り”をはじめ、地域の特性を活かした各プログラムを開発した。
- ・プログラム内容及び進行スケジュールは、以下パンフレットの通り。

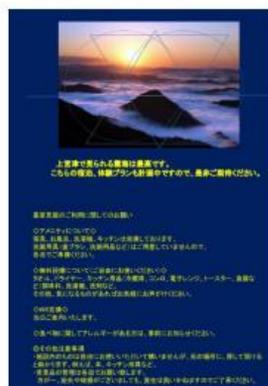


農泊・農業体験のご予定

DAY1(10月23日 土曜日)
 13:00～13:20 ウェルカムセレモニー
 Musubi 宮津市字喜多1152
 連絡先090-6551-5766

13:20～13:30 民宿へご移動
 13:30～13:40 園場へご移動
 13:40～15:10 芋ほり体験
 15:10～15:30 今福の滝
 15:30～16:30 今福の滝散策
 16:30～17:00 musubiへご移動
 17:10～17:30 民宿へご移動
 17:30～19:30 BBQパーティー
 20:00 民宿到着

DAY2
 9:00～9:30 朝食
 9:30～10:00 城山へご移動
 10:00～11:00 城山散策
 11:00～11:30 musubiへご移動
 11:30～12:00 シューアゲインセレモニー



(2)残課題

- ・農泊のサービスの質、事業性という部分に課題があった。
- ・今福の滝や城山などの活用も含め、地区の魅力を組み合わせ、体験化することが望まれる。

(3)今後の方向性(相談)

- ・現在は、農泊(百章)等を自ら進められおり、市としてはその進捗、要望等を鑑みサポートする。



別紙 2

【2-1】由良地区 コンテンツ開発(令和4年1月～)

(1)活動実績

- ・海水浴やカニ、その次の観光資源の発掘を目的に、活動を開始した。
- ・昨年より、市内の皆様にも観光地域づくりに関わって頂く取組を進めており、由良の歴史や人々にスポットを当てた体験ツアーを計画、実証実験を3回実施した。
- ・由良地区で、市民の方の好きや拘りをコンテンツ化、プレイヤーの発掘を行い、結果7名の方に携わって頂き、地区内において、観光の機運醸成に繋がった。
- ・実証実験の参加者の方々からは、地域の方々につながるというコンセプトが、とても新鮮であったというご意見を多く頂いた。
- ・満足度は、満足及びやや満足を加算すると95%となり、その満足度の高さが、確認された。



浜買い

地元飲食店

～ 拓taku. と周る浜買い・食す体験・写真スポット巡り(昼食付)～



①浜買い
時間：8:00～8:45頃
場所：栗田漁港



②写真スポット巡り
時間：8:45～10:00頃
場所：栗田・由良エリア



⑤昼食(漁港食材)
時間：12:15～13:00頃
場所：拓taku.

地元の人が語る

～ 由良の歴史を探る会による如意寺・由良郷土資料館ガイド～



③如意寺ガイド
時間：11:00～11:30頃
場所：如意寺



④由良神社ガイド
時間：11:30～11:40頃
場所：由良神社



⑤由良郷土資料館
時間：11:40～12:00頃
場所：由良郷土資料館

100%天然素材石鹸 (SDGs体験)

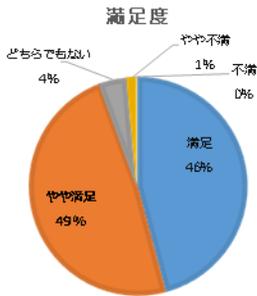
～ SAPOによるサステイナブルな石鹸作り体験～



⑦石鹸作り体験
時間：13:00～15:00頃
場所：セバーク由良

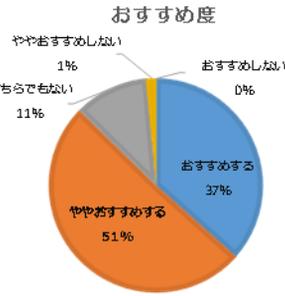
実証実験のアンケート結果 まとめ

満足度



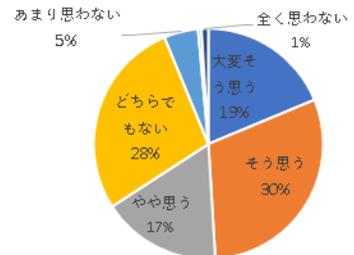
満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
33人	35人	3人	1人	0人

おすすめ度



おすすめ	ややおすすめ	どちらでもない	ややおすすめしない	おすすめしない
26人	36人	8人	1人	0人

(参照)宮津市体験プログラムの満足度



※2022年度 宮津市観光アンケート(409件)

【良かった点】

- ・地元の方とつながるというコンセプトが新鮮であった。
- ・地元の方の生い立ち、そこから派生する拘りのある体験、食事までが一連のストーリーとして作られている。
- ・地元の人と個人的に話せ、繋がりが作れる。
- ・地区のファンになれ、受け入れてくれる感じが持てた。

【改善点】

- ・全体の進行管理(移動を含めた)を、粗立、磨き上げが必要。
- ・案内人のこれまでの経験や、由良の歴史やエピソードをもっと深く聞きたい。
- ・体験のバリエーションをもっとあると、魅力的である。
- ・すれ違う地元の人に笑顔がほしい。小さな地区だからこそ、地域全体で挨拶等、「Welcomeさ」が欲しい。

- ◇満足 + やや満足以上で95%
- ◇お勧めする + ややお勧め以上で88%

宮津市の既存体験プログラムの満足以上(66%)と比較しても高評価であった。

地元の人とふれあう体験プログラムは満足度も高く、由良のファンづくりに繋がる

(2) 課題

- ・全体の進行管理を行うコーディネーター役が、不在であった。
- ・由良地区の体験を巡るための移動手段がない等の問題が顕著化した。
- ・すれ違う地元の人に笑顔が欲しい、地域全体で挨拶などWelcomeさが欲しいなど、ホスピタリティに対する意見があった。

(3) 今後の方向性(相談)

- ・その後の展開として、桜の季節催事等と連動させながら横展開の可能性を探りつつ、2023年度後期に販売することを念頭に検討を行った。
- ・地域内を回遊する移動手段の課題から、Eバイクの活用も含め、改めて検討を行った。
- ・初期的プランとして、Eバイクの貸し出しのインフラや仕組みがあることから、宮津地区(道の駅)から栗田地区経由～由良地区ルートを初期的ルートとして設定した。
- ・Eバイクは、天橋立地区の利用しかなく、このインフラを転用することで、ノーリスクで新たなサイクリングルートを開発できるというメリットがある。
- ・DMO及び観光協会による管理・販売を構築する必要がある。

⇒Eバイクについては、次項で深掘を行った。



【2-2】由良地区 Eバイク検討(令和5年1月～)

(1)活動実績

- ・「宮津地区(道の駅)～栗田地区～由良地区ルート」コンセプトは以下の通り。
 - :コンセプトは、映える写真を撮りながら、地元の人及び食と出会う自転車旅とした。
 - :ターゲットはオールターゲットとしたが、開発を行う際の中心的なプロフィール設定を、20代から30代の女性グループと想定した。



(2)残課題

- ・実際にEバイクで、初期的ルート、クロスワークセンター経由、栗田地区(魚っ知館)から由良地区(マリnhaus)へのルートの可能性について確認を行った。
- ・海の京都DMO及び宮津市商工観光課のメンバーが参加、天候は、雪となり、寒さの厳しいコンディションとなった。(クロスワークセンターでサウナテント体験も実施。)
 - :上記ルートは、男性でも約片道2時間の行程となり、一般ゲストを想定すると、昼食も含め1日の健脚コースであった。
 - :栗田地区から由良地区間、奈貝(なく)海岸付近の国道178号線は、交通量も多く、安全性対策に万全を期す必要があり、導入期は避けた方がよいとの見解を得た。



雪の中のサウナテント

(3)今後の方向性(相談)

・以上を踏まえ、導入期としては、以下2つのルートを想定した。

①宮津地区～栗田地区コース(半日コース)

- ✓獅子口(しいざき)交差点から獅子公園付近までの、海を介して見る天橋立は、映えスポットがあり、且つ爽快感が味わえる素晴らしいサイクリングルートである。
- ✓合わせて栗田地区の漁師町の原風景と、そこでの暮らす人々と繋がるコンテンツを開発、付加することで、魅力的なルートなると感じた。
- ✓開発作業は以下の通りである。
 - ・映えスポットを探ると共に、安全なルート設定を行う。
 - ・人との繋がる拠点として、魚っ知館、飯尾醸造、竹中罐詰等を想定、今後連携を検討する。
 - ・配布マップや、プロモーションとしてweb活用、更には動画配信等を検討する。



②由良回遊コース(由良地区での貸出返却)

- ✓昨年の実証実験、人と繋がる由良コンテンツを点とするならば、Eバイクはそれらを繋ぎ、由良地区を面として、魅力の最大化を図り、地区全体を一つの観光コンテンツとして醸成することが可能となる。
 - ✓由良駅レンタル自転車は、市役所企画課から由良駅でカフェを営む日比さんへ委託されており、拡大、横展開の可能性はあるものの、日比さんのワンオペレーション体制と脆弱であった。
 - ✓丹鉄は、交通観光連携型事業の補助金(2023年度)を活用し、地域の観光資源を醸成することを考えており、今般開発した由良の観光コンテンツとの連携、その他サイクルトレインの導入が期待できる。
- ✓開発作業は以下の通りである。
- ・貸出返却の拠点、課金を含む運用の整理を行う。
 - ・改めて、地域の実証実験参加者の皆様との連動を調整する。
 - ・配布マップや、プロモーションとしてweb活用、更には動画配信等を検討する。
 - ・京都丹後鉄道との連携パッケージ商品、車内自転車持ち込み等も検討する。

